

平成 27 年度 事業報告書

I 概 要

「高岡市総合計画第 2 次基本計画」では、重点的な取組として「高岡新世紀創造プロジェクト」を掲げ、その取組む 5 つのテーマの一つ「歴史・文化」において、「生涯学習体制の充実と新たな文化創造」を掲げている。

これを踏まえ、当事業団では地域に根ざした芸術・文化活動の育成に向けて各種事業実施に取り組んだ。各文化施設等が市民に有効に活用されるよう、事業団独自のノウハウやネットワークを活かし、利用者ニーズに沿った施設管理と事業展開に努め、高岡市の芸術文化の振興に貢献した。

○ 文化施設等の適正な管理と利用の促進

平成 27 年度は、第 3 次指定管理者期間（平成 24 年度～28 年度）の 4 年目（但し二上まなび交流館は最終年度）であり、8 施設の管理運営を行った。利用者に安全・快適に施設を利用していただけるよう、施設管理に万全を期すとともに、利用者のニーズに沿った水準の高いサービスを提供し、施設の利用促進を図った。

平成 27 年 12 月 1 日から美術館 2 階に高岡市 藤子・F・不二雄ふるさとギャラリーが開設され管理運営業務を受託した。

○ 文化振興事業の展開

市の文化振興施策の方向を踏まえ、質の高い舞台芸術の創造事業や市民の芸術文化への関心を高める事業、市民ニーズに応える事業などを展開している

万葉歴史館では、開館 25 周年記念として春の特別企画展「万葉の色」、秋の特別企画展「萬葉集のすがた一新収蔵品を中心に一」を開催した。平成 27 年 8 月 1 日には、増築した特別展示室・図書閲覧室 2 をオープンした。

美術館では、7 月～8 月に「コレクションのチカラ ―未来に伝えたいアート」展、9 月～10 月に「魯山人の宇宙一魂を^まる美が欲しい―」展を開催した。12 月～1 月には「第 2 回クリエイティブ・たかおか～未来に輝く 高岡市児童生徒作品展～」を開催した。また、平成 27 年 12 月 1 日の藤子・F・不二雄氏の誕生日に因み、美術館 2 階に高岡市 藤子・F・不二雄ふるさとギャラリーが開設され管理運営業務を受託した。

博物館では、平成 27 年 3 月 10 日に高岡城跡が国史跡に指定されたことを記念し、7 月末から 10 月中旬に特別展「国史跡指定記念 高岡城跡の魅力」、及び郷土学習講座「高岡城跡の魅力をさぐる」（全 4 講）を開催し、多くの方々に来館・受講いただき、好評を得ることができた。

市民会館では、地域創造助成事業（2 ヶ年）の初年度の取り組みとして「五環の森プロジェクト」を立ち上げ、オーケストラと地域の子どもたちを中心とする舞台公演「くるみ割り人形」を開催した。また、北陸新幹線開業記念「ラ・フォル・ジュルネ音楽祭」、終戦 70 年記念「オーケストラ・アンサンブル金沢高岡公演」では被

爆ピアノや詩の朗読、五環の森合唱団約80名によるモーツァルト「レクイエム」など多彩なプログラムを企画し、音楽による文化のまちづくりを目指した。

カメラ館では、春に「田沼武能展」で多くの人間とドラマを撮影した作品をとおり人類の愛と夢と希望について考える機会を提唱し、夏の「笹本恒子展」では、日本初の女性報道写真家といわれる笹本恒子が歩んだ報道写真家となってから現在に至るまでの代表作品を紹介した。また、「吉村和敏展」では、吉村氏のこれまでの集大成となる作品を展示し、「相原正明展」で雄大なオーストラリアの大自然と富山の四季を対比する展示をした。

II 各施設の事業内容

1 文化振興事業

事務局では、「第45回高岡市芸術祭」（期間：10月31日から11月8日まで）を高岡市芸術文化団体協議会（邦楽、洋楽、華道、茶道）及び高岡市美術作家連盟との協働により開催した。また自主事業活動として市内小学校へのアウトリーチ活動「出張公演・出前講座」を年間22回開催した。

2 万葉歴史館事業

企画展は、前年度に引き続き「越中国と万葉集」を実施している。

春の特別企画展は、「万葉の色」と題し、復元された古代の色を元にして、万葉人が色から触発されたところの動きを探った。秋の特別企画展は、新しく収蔵した万葉集の断簡11点を中心に展示し、併せて特別展示室の公開を兼ねる「萬葉集のすがた―新収蔵品を中心に―」を開催した。

学習講座では、例年実施している高岡万葉セミナーは「古写本の魅力」と題して開講し、「万葉集をよむ」・「『日めくり万葉集』を読む」・「大伴家持とともに」・「古代への招待」・「はじめての万葉集」を継続開講し、新たに「越中名歌に親しむ―はじめての万葉集―」も開講した。そして、「越中万葉ウォーク―奈呉―」と「第一回歌枕を訪う―越の白嶺―」という臨地研修型の2つの学習講座を充実させることで、新たな来館者を獲得するよう努めた。また、富山大学で館長や研究員が万葉に関する講義、信州大学における故地交流展「越中万葉の世界」、学校移動展示「越中万葉パビリオン」や「坂本信幸の越中万葉教室」も継続的に実施し、若者に越中万葉に関心を抱かせ、より親しんでもらえるように取り組んだ。

出版事業では、万葉歴史館の研究成果を紹介する『高岡市万葉歴史館紀要』第26号、同叢書28『古写本の魅力』、同論集16『万葉集と富山』を出版した。

来館者に対しては、わかりやすく万葉の世界を伝え館内を案内するための説明員「和草(にこぐさ)」とともに、万葉への魅力向上を期して、学校団体客等に対しては、研究員自らが案内を行っている。

○万葉歴史館増築工事完工に伴い（平成27年3月13日）、平成27年8月1日に特別展示室、図書閲覧室2をオープンした。

3 美術館事業

美術館では、郷土の美術・工芸の研究成果を基に、収集・保存・展示・教育普及活動を行っている。

平成27年度は、北陸新幹線開業及び新高岡市誕生10周年を記念した企画展を開催した。7月～8月に「コレクションのチカラ ―未来に伝えたいアート」と題し、「高岡の文化的価値の再発見」と「高岡からの発信」として、高岡ゆかりの作家の作品を中心とした当館コレクションを展示するとともに、地域で守り伝えられてきた文化財を特別公開した。9月からは「魯山人の宇宙一魂を^まる美が欲しい―」を開催し、北大路魯山人芸術の評価と「おもてなし」の美学を紹介し、ほぼ未使用の秘蔵の名品「カワシマ・コレクション」を核に魯山人が制作した陶磁器を展示した。

12月から1月には「第2回クリエイティブ・たかおか～未来に輝く 高岡市児童生徒作品展～」を開催し、小中学生の成果発表の場とするだけでなく、高校や大学、作家の作品も展示して地域の美術工芸教育の現況を見せる総合的な展覧会とした。また、美術鑑賞入門のためのコレクション展示「わくわくアートツアー」も昨年度に引き続き開催した。

恒例の展覧会として「日本伝統工芸富山展」、「高岡市民美術展」についても、それぞれの日々の研鑽の成果を発表する場として好評を得た。

コレクション展においては、テーマに沿って展示を行い、「工芸へのいざない―金工・漆芸コレクションから」では「ものづくり・デザイン科」に学ぶ児童・生徒たちへの教育普及を主な目的に、高岡の歴史を彩る金工・漆芸の歴史をわかりやすく紹介した。7月からは「松永真―グラフィック・デザイナーの肖像―」を開催し、世界的に活躍し、当館とも縁が深い松永真のポスター作品を展示した。

昨年度から継続して5月まで開催した「生誕80周年記念 藤子・F・不二雄展」では、高岡市出身のまんが家の圧倒的な世界観を多くの来場者に楽しんでいただいた。

藤子・F・不二雄ふるさとギャラリーにおいては、「オバケのQ太郎」や「ドラえもん」をはじめ数多くの魅力的な漫画の名作を生み出した、日本を代表する漫画家である藤子・F・不二雄氏が幼少から少年時代を高岡で過ごされたことから、ふるさと高岡での足跡をたどりながら、たくさんのまんが原画を通して藤子・F・不二雄氏の「まんが」の原点や作品の楽しさを、国、県内外から来高された多数の皆さんに理解していただいた。

4 博物館事業

展示事業としては、館蔵品展「高岡捺染の祖・笹原文次資料展」(4月～5月)を開催し、当館が収蔵する近代高岡捺染の創始者・笹原文次関係資料を中心に展示し、その歴史について紹介した。

常設展「高岡ものがたり」(通年開催)では、高岡の歴史・民俗・伝統産業の分かりやすい紹介に努め、団体見学への展示解説等を行った。昨年度より常設展内に新設した「お宝コーナー」では、「高岡の引札」、「『佐渡家資料目録』刊行記念「高岡町医・佐渡家あて前田利長書状展」」、「山田館夫氏寄贈 郷土の名刀・宇多刀展」、「藤子・

F・不二雄先生の色紙と手紙」、「山岡鉄舟筆《国泰寺奉納千双屏風》」を順次開催した。また、今年度より新設した「民具コーナー」（通年開催）では、当館収蔵の民具を展示し、その用途や歴史について分かりやすく紹介した。

また、特別展「国史跡指定記念 高岡城跡の魅力」（7月～10月）では、平成27年3月10日の高岡城跡国史跡指定を受け、高岡城跡及び高岡古城公園の絵図・地図などの関係資料を中心に展示・紹介した。

2月からの企画展「幕末維新風雲通信 ～将軍家医師・坪井信良から兄佐渡養順への手紙～」では、高岡最古の町医者・佐渡家の由緒書や前田利長・利常書状、佐渡家の婦人薬をはじめ、初公開となる坪井信良より高岡の兄に宛てた書簡類、信良が福井藩主・松平春嶽より拝領し佐渡家に贈った文房具や、大槻磐溪・小石元瑞・坪井信道など著名な学者らの書などを展示・紹介している（次年度5月8日まで開催予定）。

教育普及事業としては、外部講師による郷土学習講座「高岡城跡の魅力をさぐる」（全4回）や、企画展「幕末維新風雲通信」特別講演会、館職員によるミニ講座「高岡のみじかい話」（全11回）、古文書講座「初めての古文書教室」（全6回）を開催した。また、桜の時期に合わせた屋上開放「古城公園展望台」、呈茶の会「松聲庵 一博物館で抹茶を楽しみませんか」（春・秋）、児童生徒を対象とした「博物館の仕事って何だろう？ーきみも今日から“学芸員”ー」、ワークショップ「昔の遊びを体験しよう！」を開催した。そのほか、講師・委員の派遣協力も行った。

資料収集・保存活動では、歴史・民俗・伝統産業にかかる資料の収集・保存に努めた。調査研究活動では、日ごろ博物館に寄贈される資料の調査・整理に取り組んだ。また、これまでに調査が終了した資料台帳の内容を精査し、当館収蔵資料情報のデジタル化を進め、643件の資料情報を公開している。

5 市民会館事業

オーケストラ等音楽鑑賞事業では、4月に北陸新幹線開業記念「ラ・フォル・ジュルネ音楽祭」を国宝瑞龍寺及び高岡文化ホールなど3会場で開催し、「パシオン・バロック！」をテーマに質の高い音楽を親しみやすいプログラムで提供した。また7月には終戦70年を記念し、オーケストラ・アンサンブル金沢定期公演「平和への祈り」を開催した。指揮者に柳澤寿男を迎え、山本佳澄（射水市出身）による被爆ピアノ演奏、俳優の辰巳琢郎による原爆詩集の朗読、さらに五環の森合唱団（一般公募約80名）が10回以上の練習を重ね取り組んだモーツァルト「レクイエム」（ソプラノ：山本有希子（高岡市出身）ほか）を披露し、多彩なプログラムと荘厳な鎮魂歌に多くの感動の声が寄せられた。

未来へ繋ぐ教育普及事業では、市内小学校長会の協力のもと、6月に市内小学校4年生全児童を対象とした「10才のファーストコンサート」（22年継続）、10月には市内小学校6年生を対象とした劇団四季「こころの劇場」（5年継続）を開催した。

また、地域創造助成事業（2ヶ年）の初年度として「五環の森プロジェクト」を立ち上げ、企画に携わる市民クルーのほか、年間を通して合唱団・ダンス・キッズ

サポーター等地域文化力の育成活動に取り組んだ。12月にはオーケストラと可西舞踊研究所及び一般公募の子どもたちによる舞台公演『DANCE VERSION／TAKAOKA2015「くるみ割り人形」公演』を開催し、満席の観客を魅了した。

ホール活性化特別事業では「東西落語二人会」を開催し、桂文珍、三遊亭円楽による一流の話芸を提供した。さらに11月には「THE ALFEE」を迎えた大規模公演を誘致し、新しい来館者層の開拓やホールのイメージアップを図った。

また、新高岡市誕生10周年記念事業として「NHKのど自慢」を高岡市と共催し、予選会、公開生放送両日ともに多数の来場者を迎えた。

ホール活性化事業では、ホールサポーター「パープル」が主体となるサロンコンサートを継続開催（11回）し、27年度末で179回を数えた。特に3月の新幹線開業1周年記念の回は、スタッフ・出演者・観客全員参加の大規模避難訓練を実施した。

なお、市民会館ホールにおける公益目的事業の利用は、会館自主事業、サロンコンサート等で37回、入場者数12,339人であった。また、一般へのホール貸与（収益目的事業等）は、吹奏楽の演奏会等で92回、入場者数57,912人であった。

6 青年の家事業

地域社会における人々の多様な学習活動を支援するため、「文化教室」・「現代教養講座」・「交流支援事業」を実施した。

「文化教室」では、着付け、華道、水彩画、ペン習字（ボールペン・筆ペン）、ヴァイオリナ・大正琴、二胡、茶道、煎茶、ビューティエクササイズの9教室を実施した。「現代教養講座」では、初心者を対象に韓国語と中国語の教室を、外国人講師を迎えて開講した。「交流支援事業」では、ゴルフ教室を開催し交流を図った。

なお、青年の家における公益目的事業の利用は、文化教室で106回、利用人数891人であった。諸室の一般への貸与（収益目的事業）は、2,197回、利用人数22,444人であった。

7 ミュゼふくおかカメラ館事業

4月～6月に田沼武能写真展を開催した。120を超える世界の国々を訪ねて撮影した子どもたちや数多くの人間とドラマを撮影した作品を展示し、人類の愛と夢と希望について考える機会を提唱した。6月～8月に笹本恒子展を開催し日本初の女性報道写真家といわれる笹本恒子が、1940年（昭和15年）に報道写真家となってから現在に至るまでの代表作品を紹介した。9月からの吉村和敏写真展では、吉村氏のこれまでの集大成となるような数多くの作品を展示し、この写真展の開催に合わせて写真集「MOMENTS ON EARTH」が発表された。相原正明写真展では、雄大なオーストラリアの大自然と富山の四季を対比する展示に加え、世界的に評価の高いカールツァイスレンズの撮影体験など数多くのワークショップを開催した。

カメラコレクション展示事業では、「カメラA to Z」、「カメラとマテリアル」、「デビュー！NEWコレクション!!」の展示を開催し、テーマごとに多角的な着眼

点からクラシックカメラを紹介し、ユーモアを交えながらカメラの魅力を伝えた。

資料整備事業では、カメラ整理ボランティアの協力を得て、収蔵資料の整理・データ化を継続して実施している。

教育普及事業では、写真家によるギャラリートークや関連イベント、館長の写真教室、フォトコンテスト審査派遣に加え、「ニッコールフォトコンテスト写真展」、「ワンダーフォト写真展」を実施した。県内の写真家を紹介する「トリプルAポケット」では、木原盛夫写真展（福岡町出身）を開催し、沖縄の自然や文化について展示した。

8 動物園事業

動物の飼育展示のほか、「ふれあい広場」、動物園まつり、特別展、動物園だよりの発刊等の事業を実施した。

「ふれあい広場」は、ウサギやテンジクネズミ等の小動物に直接触れることができるもので、来園者から好評を得ている。

レクリエーション施設としての機能はもちろんのこと、情操教育の場として動物愛護の啓発や情報発信、種の保存に努めた。

9 二上まなび交流館事業

主催事業として、二上山の自然に触れる「二上山を楽しもう」を春、秋、冬に実施したほか、野外料理を満喫する「野外料理を楽しもう」や、高岡市で実施されているものづくり・デザイン科に備える「ものづくり体験クラブ」など、多彩な事業を行った。

県委託事業として、異年齢生活体験推進事業「夏合宿（小学4～6年生対象）」「なかよし合宿（小学1～3年生対象）」を実施し、異年齢児童による共同宿泊体験事業を行った。

通年のクラブ活動事業として「まなびっこクラブ」を開講し、ペン習字、茶道、箏、科学工作、パソコン、卓球の6クラブを実施した。技能の向上と共にクラブ員同士の友情を深めた。

「高岡市児童アイデア工作展・高岡市未来の科学の夢絵画展」を9月にウイング・ウイング高岡1階交流スペースで開催した。応募作品はそれぞれ217点と108点で、優秀作35点と20点を、「富山県発明とくふう展・富山県未来の科学の夢絵画展」に出品した。

10月には、当館に事務局を有する外部団体（高岡市児童クラブ連合会、ボーイスカウト高岡地区協議会、ガールスカウト高岡地区協議会）と共同で「まなびっこフェスティバル」を開催し、700人を超える来場者があった。

この他、宿泊学習や親子活動などの学校教育団体、クラブ合宿やボーイスカウト、ガールスカウト活動などの社会教育団体、職員研修などの企業団体等、多くの方々に様々な体験活動の場を提供した。

なお、まなび交流館における公益目的事業の利用は、主催事業や小・中学校宿泊学習、スポーツ少年団活動など336回で、利用人数は16,285人であった。

一方、収益目的事業の利用は、研修室等の一般への貸与など 50 回で、利用人数は 786 人であった。

Ⅲ 評議員会に関する事項

1 審議内容

- (1) 第 8 回評議員会 平成27年 5 月28日開催
- | | | |
|---------|-----------------|----|
| 報告第 1 号 | 平成26年度事業報告について | 承認 |
| 議案第 1 号 | 平成26年度決算の承認について | 可決 |
- (2) 第 9 回評議員会 平成28年3月25日開催（書面によるみなし決議）
- | | | |
|---------|---------------------|----|
| 議案第 2 号 | 評議員選定委員（評議員）の選任について | 可決 |
|---------|---------------------|----|

Ⅳ 理事会に関する事項

1 審議内容

- (1) 第 19 回理事会 平成 27 年 4 月 1 日開催（書面によるみなし決議）
- | | | |
|---------|---------------------|----|
| 議案第 1 号 | 専務理事（業務執行理事）の選定について | 可決 |
|---------|---------------------|----|
- (2) 第20回理事会 平成27年 5 月13日開催
- | | | |
|---------|--------------------------|----|
| 議案第 2 号 | 平成26年度事業報告の承認について | 可決 |
| 議案第 3 号 | 平成26年度決算の承認について | 可決 |
| 議案第 4 号 | 第 8 回評議員会の招集について | 可決 |
| 議案第 5 号 | 平成27年度補正予算（第 1 号）の承認について | 可決 |
- (3) 第21回理事会 平成27年 9 月29日開催（書面によるみなし決議）
- | | | |
|---------|------------------------------|----|
| 議案第 6 号 | 平成27年度事業計画の変更について | 可決 |
| 議案第 7 号 | 平成27年度補正予算（第 2 号）の承認について | 可決 |
| 議案第 8 号 | 公益目的事業の内容変更（追加）による変更認定申請について | 可決 |
- (4) 第22回理事会 平成27年10月23日開催
- | | | |
|---------|--------------------------|----|
| 報告第 1 号 | 平成27年度上半期に係る事業の執行状況について | 承認 |
| 議案第 9 号 | 平成27年度補正予算（第 3 号）の承認について | 可決 |
- (5) 第23回理事会 平成28年 1 月28日開催（書面によるみなし決議）
- | | | |
|--------|--------------------------|----|
| 議案第10号 | 平成27年度補正予算（第 4 号）の承認について | 可決 |
|--------|--------------------------|----|
- (6) 第24回理事会 平成28年 3 月24日開催
- | | | |
|---------|--------------------------|----|
| 報告第 2 号 | 高岡市公の施設に係る指定管理者の決定について | 承認 |
| 議案第11号 | 平成27年度補正予算（第 5 号）の承認について | 可決 |
| 議案第12号 | 平成28年度事業計画の承認について | 可決 |

議案第13号	平成28年度予算の承認について	可決
議案第14号	評議員選定委員（外部委員）の選任について	可決
議案第15号	第9回評議員会の招集について	可決

2 理事及び監事の異動状況

平成27年4月1日 専務理事 寺嶋 哲 就任